

# LA WORLD 029

グローバル  
ランドスケープ通信

## Brooklyn Bridge Park

Michael Van Valkenburgh Associates, Inc.



ブルックリン・ブリッジ・パークはニューヨーク市ブルックリンのイーストリバー沿いの産業用地跡につくられた公園である。川と岸線に挟まれた細長い敷地の33haの面積の公園は、ニューヨークではオルムステッドによる設計のセントラルパーク、ブロスペクトパークに次ぐ大きさである。都市の空閑地を多様なプログラムで織り込んだこの公園は、新時代の都市公園になりえるのではないだろうか。



## 賑わいを織りなす プログラム

ブルックリン・ブリッジ・パークは2010年にPier1が開園して以来、段階的に整備が進められてきた。公園の全容が見え始めてはいるが、現在でも、住宅や商業施設の建設を含めて、整備は進行中である。倉庫や栈橋といった港湾の構造を活かした公園は11のセクションに分かれ、それぞれに個性的なプログラムが与えられている。毎週日曜日に開催されるPier2で開催されるスモーガスバーグは大いに賑わう。



Pier2にはバスケットコートがズラリ

ハンターズ・ポイントから水上バスに揺られること20余分、荘厳なたたずまいのブルックリン橋とともにブルックリン・ブリッジ・パークは姿を見せる。さっそく公園を南に向かって歩き出してみる。

ブルックリン橋のたもとに位置するこの敷地は、アメリカの歴史とともに歩んできた。この場所に最初のフェリーが着いたのが1642年。以来、様々なフェリーが往来する水上物流の要衝として栄えてきた。1776年のアメリカ独立戦争時には、ロングアイランドの戦いの拠点にもなった。運命が変わるのは1883年、ブルックリン橋の建設とそれに続くマンハッタン橋の建設だ。今でこそ橋と公園は絶妙な調和を奏でているが、橋の建設は水上交通を衰退させるのに十分であった。1950年代に崖線を走る高速道路が建設されると、倉庫と栈橋は取り壊され始め、途中大型船に対応する栈橋の建設も進められたが、1983年物流の歴史は幕を閉じる。

まわりを眺めてみると、かつての名残を感じさせるデザインが随所に見受けられる。栈橋の基礎は取り払われることなく残り続け、栈橋の上に建つ倉庫はバスケットボールやローラースケートを楽しめるスポーツ施設に転身している。ベンチや建物の木材も廃材を利用しているようだ。ブ



そこにあった栈橋の歴史を感じさせるデザイン

ルックリン・ブリッジ・パークはデザインやプログラムに新しさがあふれる公園であるが、そこにあった歴史性を活かすことによって、公園がブルックリンという地域の文脈にうまく結びついているように感じられる。

ニューヨークの代表的な都市公園であるセントラルパークが自然風景式庭園によるパッシブな憩いを提供するのに対し、ブルックリン・ブリッジ・パークは都市のプログラムを織り込むことでアクティブな憩いを創出している。一世紀を経て、都市と公園は新たな関係性を獲得しつつあるようだ。

人ごみを発見した。スモーガスバークだ。毎週日曜日に開催するこのイベントは、50を超えるお店の出店する食べ物のフリーマーケットである。この公園は、設計当時の計画意図を超えて、ブルックリンの町につながり始めているように感じる。

帰り道にマンションの建設現場に出会った。200万ドルからご提供の超高級マンションらしい。なるほど、ここからみるマンハッタンの夜景は最高なのだろう。ブルックリン・ブリッジ・パークはまだまだ未完である。そして、この後の展開が楽しみでならない。(取材：中島健太郎)

## info

**Address:** 334 Furman Street,  
Brooklyn Heights,  
New York 11201 United States

**Access:** JFK国際空港からタクシーで約40分  
地下鉄A・C線High Street駅から徒歩7分

**Hours:** 6 am – 1 am

**Fee:** 無料

**Map:**



- 1. Manhattan Bridge
- 2. Brooklyn Bridge
- 3. Brooklyn Bridge Park
- 4. Brooklyn Heights
- 5. DUMBO